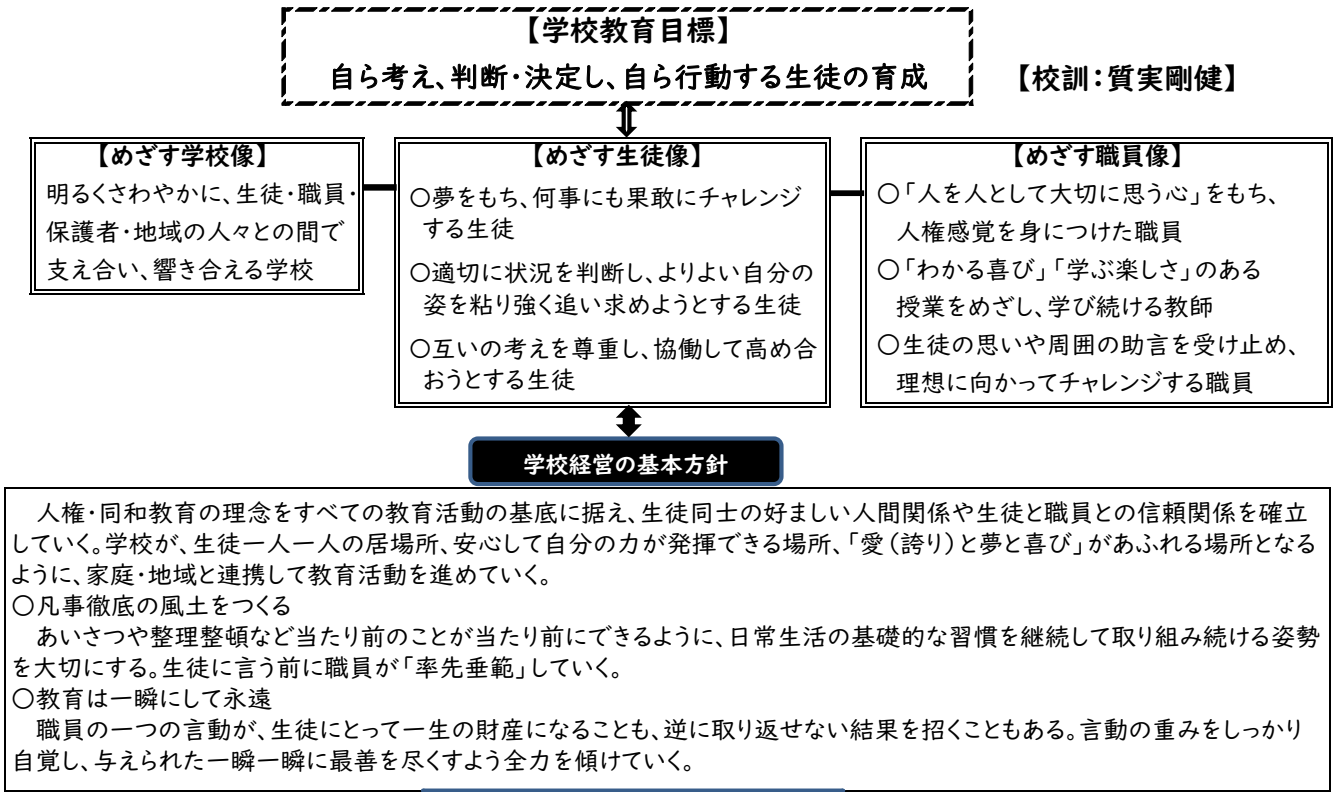


令和8年度 浜田市立第一中学校 学校経営方針



指導の重点

1 互いの考えを尊重し、伝え合うことができる集団づくり

- 一人一人の思いにしっかりと耳を傾けて生徒理解を進め、それぞれの生徒が自己表現しやすい環境をつくり、お互いを高め合おうとする集団づくりに努めます。
- 生徒が自分の考えを表す場を設定するとともに、聞く立場の生徒が相手の話をしっかり聞いて、自他を尊重する心を育てることに努めます。

2 生徒の意欲を高め、主体的な学びをめざす授業づくり

- 一人一人が多様な機器や時代に即した教材を活用して、興味・関心をもって学習に取り組み、わかる喜びを感じ、仲間と取り組む授業づくりを工夫します。
- 個々の生徒が学ぶことに自分なりの目標をもち、主体的にな家庭学習を推進し、粘り強く取り組む姿勢を支援し、生涯の学びにつながる確かな学力の育成に努めます。

3 自己理解とキャリア教育を通じた「人生の道標」づくり

- 生徒が自分自身を客観的に見つめて自己理解を深めたり、学校生活や行事で自分の果たした役割や自身の成長を振り返って実感するなど、自己有用感を育む指導に努めます。
- 学年の生徒の状況に応じて本物に接する体験活動を設定し、体験を通じて得た学びを生徒間で共有して視野を広げていく活動を工夫します。
- キャリア教育を推進し、個々の目標を形成します。

4 「地域と共にあゆむ」学校づくり

- まちづくりセンター等と連携して地域で活動する場を活用し、地域への愛着を育むとともに、生徒が郷土の社会に貢献しようとする態度を育てます。
- 学校だよりやすぐー等での情報発信を通して、保護者や地域に学校の取組や生徒の頑張りを伝えます。

年間の流れ

1学期～新たな自分・新たな仲間

2学期～体験、表現、学び合い

3学期～成長の実感・次年度の自分へ

基礎の徹底・継続（凡事徹底）

読書活動（読書時間：1週間で最低2時間）

家庭学習（平日最低家庭学習時間：1年～80分、2年～90分、3年～100分）

・出会い、仲間づくり（入学式、説明会）

・学級集団づくり

・集団のルール、学習規律の確立

・体育祭、合唱コンクールで団結

・ふるさと学習、修学旅行、職場体験

・学び合い～自分の考えを表現する

・心を磨く（道徳教育、キャリアパスポートのまとめ）

・次年度の自分へ

・卒業式